4-3-2 環境に配慮した情報機器の開発

NTT西日本の情報機器は、「お客様宅に設置される」「お客様の手に直接触れる」「お客様により廃棄される」等の理由から、人・地球にとって環境負荷の小さい情報機器の提供をより一層推進することが必要です。そこで、2000年3月にNTTグループグリーン調達ガイドラインの追補版として「通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を制定し、一部商品においてはダイナミックエコの認定を受けています。

ダイナミックエコの認定

NTT西日本が提供する情報機器が、環境への負荷低減等の環境保全活動に寄与している情報を広く社会に公表することにより、【環境に役立つ商品をお客様へ訴求すること】【環境対応を積極的にアピールすることによる企業イメージの向上により商品競争力を向上させること】を目的として、2001年3月、ISO14021に準拠した自己宣言型の環境ラベル「ダイナミックエコ」を制定しました（図1）。

「ダイナミックエコ」は、＜追補版＞「通信機器グリーン調達のためのガイドライン」規定を基に、更に厳しい環境基準を満たした商品だけに表示しています。

「ダイナミックエコ」認定基準については、NTT西日本ホームページにおいて公表し、情報機器における環境保護の取り組みをお客様に理解していただくよう努めています。

図1　ダイナミックエコマーク

ホームページ
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/support/eco/eco_c2.html

ダイナミックエコ認定基準

＜環境に配慮した素材の採用＞

・NTT西日本が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
・NTT西日本が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
・酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
・焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
・廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
・取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

＜リサイクルしやすい設計＞

・製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
・リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

＜環境に配慮した梱包材＞

・発泡スチロールの使用量を削減します。

＜省エネルギー＞

・省エネルギーを考慮した設計を行います。
・国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。

ダイナミックエコの認定商品

2001年11月に販売開始したダイナミックエコ認定第1号商品のビジネスファクスを皮切りに、毎年ダイナミックエコ認定商品の適用を推進しています（図2）。

現在では、ダイナミックエコ認定商品の適用範囲は、ビジネスフォン、ビジネスファクス、ひかり電話オフィスタイプ対応VoIPアダプター、家庭向けの電話機やファクス等、多機種の製品に及んでおり、商品の切替時にはダイナミックエコ認定を継承しています。

ビジネスフォンの認定商品
「Netcommunity SYSTEM αNXⅡシリーズ」
（情報機器）

VoIPアダプターの認定商品
「Netcommunity OG400Xa」
（情報機器）

図2　ダイナミックエコ認定機種